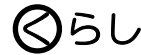


【基本理念】

『ココロ豊かにカラダ元気に食で育む笑顔があふれるまち草津』

基本方針1

食の楽しさや食への感謝を実感し、豊かな心を形成します



重点的な取り組み 食を通じたコミュニケーションを実践する

家族形態やライフスタイルの変化など多様化するくらしの中で、共食をはじめとした食を通じたコミュニケーションの実践や、食に興味を持ち、食の楽しさや食への感謝を実感することで豊かな心を育みます。

- (1) 食に興味を持ち、食を楽しむ
- (2) 食に対する感謝の心を身につけ、正しい食のマナーを守る
- (3) 食を通して人と人をつなぐ共食への意識の向上を図る

計画の指標

目標項目	現状（H27）	目標（H35）	目標値設定の考え方
食育に関心がある人の割合	60.0%	90%	国の第3次食育推進基本計画の目標値（90%以上）を参考に設定

基本方針2

望ましい食習慣の形成と実践を促進し、健康の維持・増進をはかります

実践の環を^わ広げる

重点的な取り組み バランスのとれた食事を意識し実践する

自らの適切な食事量の理解、食に関する正しい知識、自身にあった情報を選択する力を養うこと、バランスの取れた食事の実践などをささえることで健康的な食生活の実践につなげます。

- (1) 食に関する知識と、自身に合った情報を選択する力を身につける
- (2) 食を通じた健康づくりへの関心と理解を深める
- (3) 食育に関連した学習機会の提供など、食育推進活動を積極的に展開する

計画の指標

目標項目		現状（H27）	目標（H35）	目標値設定の考え方
バランスのとれた食事に気を付けている人の割合	20歳代男性	18.8%	36%	健康くさつ21（第2次）と同じ目標値に設定
	20歳代女性	29.8%	64%	
	30歳代男性	25.5%	44%	
	30歳代女性	51.4%	67%	
野菜の平均摂取量	成人	270.2 g	350 g	国の健康日本21（第2次）の目標値（350 g）を参考に設定

◆これまでの食育推進の取り組みをより一層広げていくとともに、『実践の環を広げる』取り組みを強化していくため、「第3次草津市食育推進計画」を策定しました。

基本方針3

食文化継承や地産地消によるまちづくりと、人に安全・自然に優しい食環境づくりを推進します



重点的な取り組み 地場産物を認知し利用する

地場産物を認知し、地産地消を進めることで輸送による環境負荷を軽減します。消費者と生産者、食環境づくりをつなぐことを進めます。

- (1) 伝統食や行事食の継承を推進する
- (2) 食品の安全・安心について基礎的な知識を習得する
- (3) 食環境を意識し、食品ロス削減を図る

計画の指標

目標項目	現状（H27）	目標（H35）	目標値設定の考え方
地場産物を購入するよう心がけている人の割合	50.6%	70%（H32）	第5次草津市総合計画第3期基本計画の当該目標値（平成32年70%）より設定

計画の推進体制

